

《マナーとルールは「人間力」の第一歩》

文部科学省後援 マナーキッズ®プロジェクトのご案内

体育・道徳融合授業開催で《学校が変わります》

後援 文部科学省 財団法人日本体育協会(マナーキッズスポーツ教室)
協力 小笠原流礼法 鈴木万亀子総師範

協賛 MUFJ 三菱東京UFJ銀行 日本児童教育振興財団 三菱商事



Designing The Future
KDDI



連絡 財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクト
趣旨

マナーキッズ®プロジェクトは、スポーツや文化活動を通じ<体・徳・知>バランスのよい子どもを育てるNPOです。プログラムは、子どもの体力・運動能力の低下に歯止めをかける<体育>、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる<徳育>、運動で知性を育む<知育>を考慮して組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校から高い評価を得ています。財団法人日本テニス協会マナーキッズテニス教室は、今までに42都道府県において、372回、約27,200人の幼稚園園児・小学生児童が参加しました。NPO発足後は、体育と道徳(食事のマナー他)の融合授業の開催を支援しております。20都道府県、80小学校で体育・道徳関連授業に採用されております。また、ミニバスケット、サッカー、ラグビー、柔道、音楽、中学校・行政礼法指導等領域が拡がっており、既に約10,000人が参加しました。

子どもたちは、いわば「未来からの留学生」です。次代を担うその子どもたちが「人間らしく成長」していくために、私たち大人は何をなすのでしょうか。今、あちこちで共同体が消滅しています。そのために、子どもたちの人間関係はやせ細っていくばかりです。豊かな人間性は豊かな人間関係を通じてのみ培われるという「社会化の装置」がうまく機能しなくなった結果でしょう。人と人がきちんと向き合う。そして、人間らしく生きる。そのための第一歩は、挨拶や礼儀などのマナーをきちんと身につけ、しっかりとルールを守ることにあります。

体育・道徳融合授業の開催事例・スケジュール(2時限90分)



開講式(10分)では、姿勢を正しく、相手の目を見て元々く自己紹介



小笠原流礼法鈴木万亀子総師範により正しいお辞儀を練習(10分)



ボレー他の練習の際に「よろしくお願ひします」「ありがとうございました」と繰り返し挨拶(50分)



マナーキッズ教室が終わると全員で後片付け掃除(10分)



修了証書授与では、しっかり相手の目を見て「ありがとうございました」(10分)



教室の最後に、指導者全員に、目を見てお礼の握手

感想文(小泉信三氏「スポーツ三つの宝」)、保護者に対する講話「家庭内の躰」、マナーキッズ大使海外派遣 裏へ

開催小学校からの反響（マナーキッズ教室の体育・道徳関連授業採用の波及効果）

アンケート結果・・・挨拶する児童の比率が大幅アップ（東京都杉並区立三谷小学校）

子どもの「以前から挨拶している」割合は、平均で 36%であったが、「よくするようになった」「少しするようになった」という挨拶の質が向上した子どもの割合が平均 54%と合計で 90%に達した。

教師の意識・指導が変わった（八戸市立新井田小学校）

- ・ 子どもの様子を見てすぐ叱るのではなく、「マナーはどうか？」「迷惑をかけていないかな？」というキーワードを子どもに投げかけ、子どもに考えさせるようになった。
- ・ 自分自身も、「子どもの前できちんとした振る舞いをしなくては」と意識するようになった。
- ・ 全校生徒が鈴木総師範のお話を聞いたので、全校一貫した指導ができるようになった。「鈴木先生に教えて頂いた立ち方をしてごらん」というだけで、638 人の子ども達が、凛とした姿で立てるようになった。
- ・ 子どもをほめる場面が増えた。学級内にプラスのサイクルが増えた。
- ・ マナーという視点で子どもを見つめ直すだけで、生活面、学習面で全ての領域を網羅することが分かった。そして、その波及効果も大きい。

子どもの意識が変わった（八戸市立新井田小学校）

- ・ 授業の始めと終わりの挨拶では、教師の目を見て挨拶できるようになった。
- ・ 朝食をしっかりと食べるようになった。
- ・ 地域や校内ですれ違う時の挨拶がとてよくなった。
- ・ 明るい顔、場にあった声、腰の折り方等本当によくなった。

メディア掲載



NHK「暮らしの中のニュース解説」



読売新聞「教育ルネッサンス」



日本教育新聞

筑波大学大学院人間総合科学研究科 大森肇准教授 マナーキッズプロジェクト研究 中間発表

受講した子ども達は、全員が、プログラムの前後で顕著な変化が見られることから、子ども達の変容を客観的に捉えることが研究の目的。心理的な気分尺度測定結果の結果、「マナーキッズ教室は、子供の感情を改善する。」ことが分かりました。「混乱・緊張、不安等」のネガティブな指標は低下、ポジティブな指標「活気」は上昇する中で、日本の伝統的な礼法を習得することが、大きな成果を挙げている一因と考えられます。

課題

子どもは「教えれば変わる」「教えれば挨拶できるようになる」「礼儀正しさのDNAは残っている」課題は、それが持続できるよう、家庭、学校、地域社会のフォローが不可欠。「マナーコミュニティ」で商標登録を取得。町あげて「挨拶運動」（大都市では、1中学校学区の全小学校、全幼稚園他）を展開するモデル市町村募集中。

講師紹介

鈴木万亀子（小笠原流礼法常任理事 本部教授 総師範）・・・小笠原流惣領家32世忠統公に仕え、的伝総師範を賜る。玉川女子短期大学講師歴任、現在、中学校3校の道徳講師を務める。霞会館、小笠原伯爵邸、その他にて後輩育成。映画「たそがれ清兵衛」「武士の一分」その他TVドラマで所作指導。NHK 他民放に出演する傍らマナーキッズ教室にてマナー指導、他小笠原流茶道古流、山田流箏曲、茶花も教授し、企業研修指導も行う。

田中日出男（NPO 法人マナーキッズプロジェクト理事長）・・・平成8年マナーキッズプロジェクトの「きっかけ」となった早稲田大学庭球部小学生テニス教室を開始。三菱化学株式会社常務取締役、江本工業株式会社取締役社長を経て、平成16年4月から財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトに携わる、前同プロジェクトディレクター、平成19年6月から NPO 法人マナーキッズプロジェクト理事長・インパクト・コンサルティング顧問。

体育・道徳関連授業申込先、問い合わせ先

NPO法人マナーキッズプロジェクト

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-22-3 デルコホームズ 5階 電話 03-3339-6535

FAX 03-6426-1580 URL <http://www.mannerkids.or.jp/> Email office365@mannerkids.or.jp